

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えのん塩川		
○保護者評価実施期間		2025年11月6日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間		2025年11月6日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが確保されている事で安全に配慮しながら活動出来る環境が整っている。	活動内容や人数に応じて部屋やスペースを確保し、落ち着いて取り組める場を設定している。休息できる場も設け、安心して過ごせる環境づくりを行っている。	活動の目的や子どもの状態に応じて、より集中しやすく安心して活動できる場を整えていく。
2	年齢や発達段階に応じ必要な関わりが十分できるように集団活動と個別活動の両方を取り入れ成長を支えている。	活動前にならいを共有し、集団活動と個別活動それぞれの良さを活かし、無理なく参加できる工夫を行っている。	一人ひとりの様子を記録し、活動内容や関わり方を見直し充実を図っていく。
3	異年齢や多様な特性への理解を踏まえ、専門機関との連携や専門的支援にも取り組んでいる。	専門員が病院や関係機関とのカンファレンスを行い、情報共有と支援の方向性を確認している。	専門機関との連携を継続し、カンファレンスで得た情報を職員間で共有し、支援の統一を図る。専門的な助言を日々の関わりや環境調整に反映し、より質の高い支援につなげていく。
4	異年齢（就学児）が同じ場で過ごすことで、身近な年上の児の姿を見て真似る機会をつくり生活面や活動面のスキルを自然に身につけたり、年上の児への憧れが意欲につながる環境づくりをしている。	活動内容や役割を工夫し、異年齢で関わりあえる場面を設定している。職員が仲立ちしながら関わりを支え、安全に安心して過ごせるよう配慮している。	異年齢との交流を通じ自然なまねや憧れにつながる関わりを増やしていく。職員が関係を調整しながら、安心して安全に関われる環境を整えていく。
5	実際に体を動かし、見て、触れて、感じる実体験を大切にしている	実体験を重ねることで、知っていることやできることが増え、やってみたい、知りたいの気持ちを育めるように支援している。	経験を通して得た感情や気づきを大切にしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有や会議の十分な時間の確保が難しい状況がある。	送迎範囲が広く、職員の配置や時間調整に制約が生じている。	新事業所と送迎範囲を分けることで、送迎の効率化を図り、人員確保と時間調整を進めていく。

2	研修参加者に偏りがある。	業務の都合や人員配置の関係で、研修に参加しやすい職員としにくい職員に偏りがある状況になっている。	報告の場を設けて研修内容を共有し、全体で学びを深めることで、事業所全体のスキル向上につなげていく。
3	外部から講師を招いて知識を深める研修の時間や機会を十分に確保できていない。	研修時間の調整が難しい状況がある。	計画的に研修時間を確保できる体制を整えていく。
4	保護者向けの非常時対応について、情報共有が十分に行き届いていない。	説明の機会や周知方法が限定されており、継続的な発信ができていない。	入所時の説明に加え、書面や掲示を活用して定期的に周知し、保護者が確認しやすい体制を整えていく。

事業所名		公表日 2025年12月26日						
		利用児童数 12				回収数 10		
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	3					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1			送迎ドライバーが数名いたら職員の送迎の負担が減るのではないか…?	今後新事業所も踏まえ、送迎範囲を検討中。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1			玄関に段差がある。	移動できるスロープ等現在検討中です。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10						
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			1			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10						
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	2	1			
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2		2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9			1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	1	4			
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10						

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1				
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1			一度はインスタで顔出しがあったがその後、改善された（顔出しNGなので…）。	申し訳ありません。複数職員でのチェックを徹底します。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			3		施設入り口に掲示しておりますので、ご確認お願いします。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			2		毎月1回実施しております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			2		安全計画は玄関にありますので、ご確認ください。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			3		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29 事業所の支援に満足していますか。	9	1				

事業所名	えのん塩川
------	-------

公表日

2025年12月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・休息、個別対応が十分とれている。 ・活動内容や人数によって場所を分けるなど、各部屋を有効活用している。 	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・専門ニーズにある家族に対し、兼務での対応ではあるが専門的支援ができている。 ・加配職員も配置し対応ができている。 ・人数の配置は充分であると感じる。 ・職員同士で声を掛け合いながら行っている。 ・基準上は適切であると思うが、土曜日のみ少ないと感じるときがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎等で、活動のタイミングで職員が少ない。送迎範囲の縮小。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ台、便座などの使用、使い方なども伝えている。 ・ホワイトボードが見やすい位置にある。 ・トイレの手すりある。水道は高低差のある水道が2ヵ所設置されている。 ・角が尖っている箇所にはスポンジ等がしてある。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝または夕方 毎日の清掃、消毒。 ・口に入る玩具の整備（出し入れ）。 ・広い空間に、机を出したり、片づけたりして活動をする環境ができている。 	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋を活動や、体調、落ち着ける場所として使用できている。 ・個別訓練にあった環境作りができる。 ・疲れたら休める静養室がある。 ・扉を開けておくことで、見守り空間ができる。 	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で毎日振り返りをしながら次につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し振り返りの時間があってもよいと思う（10分程度）。 ・目標設定と振り返りをプラスに活かせるとよい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの確認をしている。 ・個別で見ていた利用者の送迎を担当し、コミュニケーションができるようにしている。 	・今回が初回。今後意向をもとに対応する。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分散や意見の出し合いなど、セルフチェックでも確認している。 ・1日毎の反省を行っている。アドバイスや意見をもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の反省や振り返りの時間ができていない日もあるため改善が必要。 ・専門的な知識をつけていけると良いと思う。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			第三者による外部評価実績なし	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・リタリコ教材、安全・虐待・衛生など必要なものを取り入れ開催している。 ・オンライン研修などの時間を設けてもらっている。 ・職員全員で研修を行った。あいづCAP研修、ワークライフバランス研修などがあった。 	・個によるがもっと皆で意識を高められるとよい。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに公表。 ・支援の計画をもとに実行できるよう話し合っている。 	

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談をきちんと行い、作成している。 ・子どもからもアセスメントをとれるよう、必要に応じて複数人で会議参加し作成している。 ・児発管の作成した計画を、職員が確認している。 ・ニーズに合わせて活動を考えている。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、ケース会議等で共有しながら検討している。 ・職員間で児発管の作成した計画案を見て、意見を出し合っている。 ・日々子どもの様子を情報交換し行っている。 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の際にも計画を見直し支援にあたっている。 ・支援方法の共有のため確認している。 ・個別活動等で行っている。 ・毎月1回は確認するように努めている。 ・ファイル（計画）をいつでも見れる環境がある。 	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の検査結果も参考にしながら日々の行動をアセスメントしている。 ・毎日記録をとり、振り返るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ファイル（情報）を見てはいるが、まだ全てを覚えたり、把握したりできていない。 ・支援記録はデータとして残ってはいるが、まとまっているわけではないので、何かしらの形でまとめていきたい（印刷など）。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、職員も何をすればよいのかをなるべく具体的に記載している。 ・支援の項目をみて、支援内容を考えている。 ・日によって領域を変えながらも、ガイドラインに沿った支援ができていると思う。 ・計画の書類も1枚にまとめられていてとても見やすい。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・複数人で立案し、確認・助言は他職員も交えて行っている。 ・職員間でニーズを確認して立案する。個別で立案することもある。 ・児発の担当同士話し合い、相談しながら行っている。 ・検討してチームで行えるよう進んでいる。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返すことが必要な事項、児童は別として、5領域を念頭に確認している。 ・工夫はしているが、長期的にみた活動は繰り返すこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化しないようにしているが、まだ改善が必要。 ・繰り返し同じ活動を行っていたので、何か新しいものを増やしていきたい。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別、集団活動の両方をほぼ毎日行えるようしている。 ・支援計画を見ながら支援を行っている。 ・メンバーによって、支援の方法を確認。 ・児発は主に午前に個別活動を行っている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援前、朝礼により他職員の業務を共有し把握している。 ・朝礼の時などに、支援の確認を行っている。（担当児童の確認、活動内容の報告） ・活動前に打ち合わせを行い、こうした方が良い、などアドバイスをもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の仕方については、もっと話し合う時間が必要。 ・話し合いかけていない日もあり改善が必要。 ・どうしても時間が足りなくて、直前の確認ができないときがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方、もしくは翌朝反省の時間をとっている。 ・振り返りを時間を決めて必ず行うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎等、参加できない職員もいる。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・リタリコへ記録入力、必要に応じて会議にて共有している。 ・時間をとて記録ができる。 ・支援記録が追いつかない際は、簡単にメモをとり後日入力する。 ・記録を各声掛けは盛んに行えている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリング、面談での見直し(電話やメッセージのやりとりも含む) ・保護者の方からの相談に対して、面談の時間を設けている。 ・ニーズの聞き取りから、共有し話し合う。 	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管や担当職員が参加している。 ・担当や会議に参加する際は、話す内容を事前にまとめてから参加している。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・医療連携、お互いにできる支援の検討を行っている。 ・医療機関に見学に行く機会が増えている。 ・情報を共有しながらできている。 ・問題を先延ばしにするのではなく、すぐに連携をとっている。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議で共有。そのほか必要に応じての連携ができるよう情報交換、計画の共有。子どもが安心して進級や進学ができるように支援している。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議での共有。役割についての確認をしている。 ・環境の変化から、姿の予想まで行う。 	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、対応が難しいケースは相談員さんを通し助言してもらう。 ・会議等に参加する機会を職員がもらえた。 	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども園、保育園等との合同企画なし、今後検討していく。 ・所外療育でたまたま一緒になることはある。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の時など、ニーズの確認や、その日の出来事や活動を伝えている。普段の様子も伺い共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた連絡、毎日の報告は行っているが、十分ではないと感じている保護者もいるかもしれません。 ・連絡アプリだけでは不十分さがあるのではと、今後検討中。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・家族等の参加する活動はできていないが、トレーニングの情報提供は行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族参加研修をまだ行えていない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明している。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談にて確認している。 	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	・面談や送迎時など、保護者に内容を伝え計画書に記名してもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・面談や必要に応じ電話、メッセージのやり取りを行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7		・父母会のニーズ確認中。まだ企画できていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・迅速に面談できるよう調整し、対応について確認している。 ・相談支援専門員に相談している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・連絡アプリ（コノベル）での発信、その他Instagramでも活動報告を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・個別ファイルに保管し、鍵付きロッカーハード盤。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・それぞれの子どもに合わせた確認方法や、意思表示の提案と実施を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	・作品展の開催。誰でも見れるようなイベントを実施した。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	・保護者等がすぐにみれるよう玄関先に置いてある。 ・職員全員目を通すようにしている。	・毎月訓練は実施しているが、保護者にマニュアルの周知はしていない。 ・マニュアルに沿って訓練を充実させるとよい。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・毎月避難訓練を行っている。（火災、地震、水害、クマ対策など）	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・服薬状況や、薬の内容について確認し、対応を相談している。 ・予防接種をした際には、事業所にも声をかけるように伝えている。 ・てんかん時のマニュアルも個別にある。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・利用開始前にアレルギーの聞き取りと用紙記載、サインをもらっている。 ・アレルギー診断書（結果）の提示を求めている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画作成あり、計画に則り訓練を行っている。 ・月1回、安全確認、車・遊具確認等行っている。 ・職員内研修を行っている。（てんかんや車内で体調が悪くなった時どうするかなど）	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・すぐに見れるよう玄関先に置いてある。	・家族への積極的周知なし。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・その都度ヒヤリハットを共有し検討している。内容はどのような経緯でどうなったのか、細かいところまで共有している。 ・ヒヤリハットを書くことで、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・虐待、身体拘束についての記載。 ・職員のセルフチェックを毎月行っている。 必要に応じて上長と面談して相談している。 ・資料を通して、理解を深めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・記録をし、同事業所内での検討、共有を行っている。やむを得ず身体拘束に至った場合は、その都度理由を伝えて報告している。	